

農の広場

登米市農業委員会だより

第20号

平成29年2月



食材王国宮城の農業者！

こんどう みつる
南方町 近藤 充さん

今回紹介する若手農業者は、南方町の株式会社近藤農産代表の近藤充さんです。平成25年にお父さんが農業者年金を受給するのを機会に法人化しました。

現在水稻36ha、大豆24ha、農産加工部門として、切り餅、味噌、梅干しを生産販売しています。

社員3名、パート2名と共に規模拡大を目標に取り組んでいる若手農業者です。これからも地域農業の活性化のためにがんばってくれることを期待しています。

担当：北條委員

産業建設常任委員会との意見交換会

11月14日に来年度からの農業委員会に関する法律改正に伴う条例改正に向けて、登米市議会産業建設常任委員の皆様と運営委員が意見交換をしました。

はじめに秋山会長等から農業委員会と農地利用最適化推進委員の役割分担、選考方法、報酬についての説明がありました。

話題になった点は、認定農業者や新規就農者を増やすことで集積率を上げること、遊休農地を減らすことなどの意見が出されました。

これからも、登米市の優良農地を守るため議会と農業委員会が共に協力して頑張ることで閉会しました。 担当：三塚委員



農業者年金加入推進研修会



今年度2回目の研修会が12月5日中田農村環境改善センターで開催されました。

今回は初めての試みということでDVDを上映しての研修会で、全国の加入推進事例を紹介し、農業者年金の魅力や必要性が伝わる大変説得力のある研修会でした。

近い将来をみても不安定な農業情勢の中にあり、未来の安定した生活のためにも農業者年金に加入しましょう。

あなたの老後をサポートします。

担当：芳村委員

農作業標準料金等調査会議の紹介

農作業標準料金等調査会議は、地域の農業事情にあった農作業の標準料金を定めるために調査を行い、登米市農作業標準料金・賃金改定委員会への資料を提出して農作業標準料金・賃金表の取りまとめを行っています。また、過去1年間の農地の賃借料を地域ごとに調査して、農地賃借料情報を提供しています。

農作業標準料金・賃金表と農地賃借料情報のお知らせは、各総合支所に置いています。また、農業委員会のホームページでも見られます。



平成28年度 第1回宮城県農業委員会大会



受賞おめでとうございます

(一社)宮城県農業会議会長表彰 永年勤続農業委員(15年に達した勤続者)



鈴木一義委員



蓮沼武光委員

平成28年11月21日、村井宮城県知事他、来賓の臨席のもと、宮城県農業会議が一般社団法人になって初めての「第1回宮城県農業委員会大会」が開催されました。

農業委員会法が改正され、今回から農地利用最適化推進委員の皆さんも参加し、満場一致で「今後、政府国会に対し、グローバル化に対応した農業農村の再構築や、夢や希望の持てる農政の確立等、農業者や地域住民の期待と信頼に応えていく・・・」という大会宣言をしました。

登米市農業委員会もこのことに向かって前進していこうと思います。

この大会で、登米市農業委員会から2名が表彰を受けました。

担当：鈴木委員

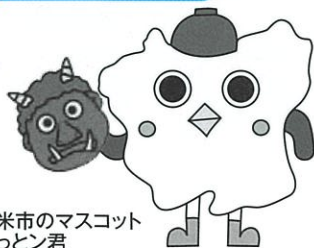
農地等の贈与を受けた方は、申告期間中に税務署へ申告を!

昨年、親等から農地の贈与を受けた方は申告期間中(平成29年2月15日～平成29年3月15日)に税務署へ申告してください。

また、相続時清算課税制度を受ける方は、その旨を申告時にご相談下さい。

注：市の申告相談会場ではなく、直接税務署への申告が必要となります。

みなさんからの 質問コーナー



登米市のマスコット
はっぴん君

質問：最近「ささ結」というお米の^{むすび}コマーシャルをみかけますが、登米市ではどんなお米が作られているのですか？

回答：昨年の登米市での作付け内容を見てみると、やはり「ひとめぼれ」が一番多く87%作付されています。昔から根強い人気の「ササニシキ」「つや姫」「まなむすめ」「げんきまる」、もち米では「みやこがねもち」「もちむすめ」なども作られています。この外にも少量ではありますが「花キラリ」「金のいぶき」「ミルクープリンセス」なども作付けされています。登米市産の美味しいお米を是非食べて下さい。

農業者年金に加入して老後の生活を安心サポートしましょう

- 政策支援加入で保険料の国庫補助が受けられます。(要件があります。)
- 確定拠出型のため安心な年金制度となっています。
- 保険料は全額が社会保険料控除され節税になります。
- ライフステージに応じて保険料を変更することができます。

農地・農業者年金等に関するご相談は、登米市農業委員会へお問い合わせ下さい。
登米市中田庁舎1階 ☎0220-34-2317 メールアドレス noui@city.tome.miyagi.jp

農業者年金に加入しました



すずき あい
米山町 鈴木 愛さん

ご主人の豊^{ゆたか}さんが平成25年に加入し、農業委員の勧めもありましたが、農業者年金の有利性を認識して、平成28年2月の加入になったそうです。

経営は水田6.5haで無農薬栽培、有機農法に取り組んでいます。

平飼の採卵鶏を450羽、放牧養豚を水田80aで飼育し、自然循環型農法を実践しています。自分達が食べて「おいしい」「安心」と思うものを、お客様にお届けすることを経営理念にしていると熱く話してくれました。

担当：芳村委員

皆さんに支えられて登米市で新規就農しました!

たちばな あゆみ
中田町 橘 歩さん

B.i.g.Farm(ビーアイジーファーム)代表の橘歩さんは、大崎市出身で2年前、石巻市出身の奥様と登米市に越して来ました。以前働いていた鹿島台町の農業生産法人での経験を生かし300坪のハウスを建て、新規就農しました。

夏は生で食べられるとうもろこしがお客様に大好評だったそうです。

心掛けていることは一人よがりにならないこと、良い物を作りお客様に喜んで頂けるような農業をすることです。

今後は規模を拡大し、事業内託児所を設け、子育て中の方でも安心して農業ができるように環境を整えて、もっと新規就農する仲間が増えて欲しいと話してくれました。

担当：及川委員



購読しませんか



全国農業新聞は地域農業者の代表機関である農業委員会のネットワークが発行する週刊の農業総合専門誌です。

週刊 金曜日発行
(原則月4回)
月700円、年8,400円
(消費税込)

申し込み・お問い合わせ先
登米市農業委員会事務局 ☎0220(34)2317

編集委員

委員長 鈴木 泰子
副委員長 及川 さよ子
委員 高橋 清彦
佐々木 武雄
北條 茂雄
三塚 芳毅
芳村 忠市

早いもので平成二十九年も一月過ぎました。七月には農業委員会法の改正により農業委員の公選制が廃止され、市町村長の任命制になるということで、新体制に対応すべく研修をしているところです。

お蔭様で「農の広場」は第二十号を発行することができました。今後も編集委員一同、力を合わせて農家の皆様に役立つ情報を発信して参りますので、ご意見ご要望をお寄せ下さい。

及川 委員

編集後記